

ま ち の 話 題



子育てを 考えるつどい

2月7日(日)、武蔵保健福祉センターで「平成21年度子育てを考えるつどい」が開催されました。子育てしやすいまちづくりの実現に向けて活動している「よろうちさかしい武蔵っ子を育つる会」の主催で行われ、親子・関係者約200人が参加しました。

「DANパネ団」による絵人形などを使った楽しいパネルシアターや風船おじさんの出し物に、参加した親子はふれあいを深め楽しい時間を過ごしました。



(左から)西田さん、甲原さん、安見さん、野田市長

ストップ温暖化一村一品大作戦 全国大会で審査員特別賞

2月13日(土)・14日(日)に東京都で行われた「ストップ温暖化一村一品大作戦全国大会2010」に県代表として出場し、審査委員特別賞(優秀賞)を受賞した「くにさきエコシステム(株)」の西田正孝社長と、取り組みの発表をした武蔵中学校1年の甲原朱音さん、安見彩花さんが17日(水)、受賞の報告に市役所を訪れました。大会では、中学生2人がひまわりの妖精をイメージした衣装で、ひまわりの種まきから収穫、搾油など、子どもたちと環境学習に取り組む「くにさきひまわりプロジェクト」を紹介しました。

丸小野子供修正鬼会

2月14日(日)、午後6時から武蔵町丸小野で伝統行事「丸小野子供修正鬼会」が行われました。この行事は、子どもの無病息災を祈願し、仲西・柿園両地区が輪番で座元を受け持っています。

今年の座元は長廣正光さん宅で、近くの武蔵川で「垢離(こうり)取り」をして身を清めた地元の古城和樹君、長廣徹也君、麻生怜生君、麻生由宇君、都留悠太君の5人が僧侶立会いのもと古式ゆかしく「盃の儀」を行いました。その後、地元の皆さんにより2本の大松明に火がつけられ、丸小野寺と反対側の稲荷権現へ担ぎあげられました。

住職の読経、餅撒きが終わると、鬼たちが香水棒を持ち舞い踊り、最後には鬼が見物客の足元に小松明を近づけて火の粉をかけ、無病息災を祈願しました。

